

創薬

システム
インテグレーション

拠点推進事業

- Health on Earth -



有用植物



“つながり、広がる…ビジネスとアカデミアの連携”

研究者がチームとなり
崇高なビジョンの実現を目指す



Masahiko Kikuchi

菊池 正彦

熊本大学 客員教授、薬学部先端薬学教授

本プログラムは関連する研究者、一人ひとりがそれぞれの意志のもとに研究するのではなく、コミュニティが一丸となって健康社会の形成という崇高なビジョンの実現に向けて邁進します。研究成果が関係者に分かり易くタイムリーに共有され、実現化に向けた次の手を打てるように、大学としては稀な、プロジェクトマネジメント体制を中堅研究者を中心に整備しました。さらに、研究成果の具現化を目指し、実用化につなげられる機能を有する大学発ベンチャーを早期に立ち上げ、適切な人材配置や人材育成を行う、次世代を担う若手研究者や関係する多くの方々にも将来が見えるようにしていきます。世界の薬用資源を有効活用し、健康社会形成に貢献し続けるこの挑戦を、伝統あるこの熊本の地から実践していきます。



大学の強みを生かして
国際連携ネットワーク構築を実現する



Hirofumi Kai

甲斐 広文

熊本大学大学院 生命科学研究所(薬学系)、薬学部教授・薬学部長

現在の創薬研究においては化合物を合成し、人体に対する影響を立証するのが一般的です。それに対して、本プログラムで着眼したのが「天然化合物」です。世界中の地域に伝わる伝承療法において、治療のために用いられる有用植物があります。このような天然資源の有効性の検証や成分の分析は、数十年前までの間に、かなり深く研究されてきました。しかし、これらの成果は、昔ながらの手法による研究結果であり、格段に進歩している現代の分析技術や新たな評価技術で調べられたものではありません。したがって、温故知新、あるいは、温故創新で、再び注目することは極めて重要です。私たちは、各国と連携して現代科学の視点から天然資源を見つめ直し、それに関わる人材を育成し、世界の健康に寄与していきたいと考えています。



1 有用植物に関連する 国内外の ネットワーク強化

有用植物の生息地となる各国と、教育・研究の面でネットワークを構築していきます。また自治体や健康産業に関わる企業との連携により、地域産業連携型フォーマバレー構想の実現に向かいます。

2 有用植物の栽培や 成分評価に関する 研究・開発の推進

有用植物に関するデータベースの整備を行うために、最適な栽培方法や抽出の自動化、海洋微生物からの新規有用成分のライブラリー化、抽出成分の評価などを行います。

3 事業成果の ビジネス展開

本プログラムの研究開発成果を活かし、有用植物の栽培管理法や成分抽出法の商品化、一次加工、それらに対するコンサルテーション、有効成分のライセンスビジネスをベンチャーを介して展開します。

UpRodは、①世界各地との有用植物に関連するネットワーク形成、
②有用植物の栽培や成分評価に関する研究・開発の推進、③創薬や健康関連ビジネスの
3本柱によって成り立つ事業である。



大学の強みを生かして 国際連携ネットワーク構築を実現する

現在の創薬研究においては化合物を合成し、人体に対する影響を立証するのが一般的です。それに対して、本プログラムで着眼したのが「天然化合物」です。世界中の地域に伝わる伝承療法において、治療のために用いられる有用植物があります。このような天然資源の有効性の検証や成分の分析は、数十年前までの間に、かなり深く研究されてきました。しかし、これらの成果は、昔ながらの手法による研究結果であり、格段に進歩している現代の分析技術や新たな評価技術で調べられたものではありません。したがって、温故知新、あるいは、温故創新で、再び注目することは極めて重要です。私たちは、各国と連携して現代科学の視点から天然資源を見つめ直し、それに関わる人材を育成し、世界の健康に寄与していきたいと考えています。



Hirofumi Kai

甲斐 広文

副事業プロデューサー

熊本大学大学院

生命科学研究部（薬学系）、

兼薬学部教授・薬学部長

Mission

天然物資源の**保全**と
応用科学を通じて、
自然生態系と人々の健康が
共生・調和する、
持続可能な社会形成に貢献する。

We contribute to sustainable development of the societies, coexisting and harmonizing natural ecosystem with human-health, through scientific endeavors, conservation and preservation of the natural resources on earth.



Watanabe © 2007-2010



Watanabe © 2007-2010

世界各地の薬用資源の
保全に関わるネットワーク形成および
人材育成を担い、
科学イノベーションを通じて
創薬を含む健康産業の発展に寄与し、
グローバルな健康社会の
形成に貢献し続ける。

Vision

We contribute to 1) Conservation and preservation of useful and unique natural products through networking and education, 2) Drug discovery and development by scientific innovation available worldwide, and 3) Encouraging the formation of glocal (global and regional) health communities.